

まちづくり再生プロジェクト（野々市市）



●プロジェクト代表者

山岸 芳夫（情報フロンティア学部 メディア情報学科 准教授）

●プロジェクトメンバー

宮下 智裕（環境・建築学部 建築デザイン学科 准教授）

山岸 邦彰（環境・建築学部 建築学科 准教授）

2つのプロジェクトを推進中

まちづくり再生プロジェクトは、野々市市が推進する市民参画事業の一環として、市民・企業・本学学生が協働してまちづくり再生に取り組むものです。建築・不動産の現状に着目した「RDA プロジェクト」と、ICTを活用して地元の個人商店と地域コミュニティとを結ぶ「CirKit プロジェクト」の二つのプロジェクトを運営しています。

「RDA プロジェクト」

野々市市で現在、課題となっている住居やアパートの空室問題に対し、物件周辺の市場調査や市民へのヒヤリングを通して、地域住民が気付いていない価値を再発見・創造し、それに基づいた住環境の再デザインを実施します。その際には、老朽化した建物を長く安全に使い続けるための耐震性能向上や安全性の確保なども検討します。

アパートオーナー、建築士、建築構造設計士、工務店、不動産管理会社等との連携下で、学生が住環境のリノベーションに主体となって携わります。

また、平成26年度はアパートだけにとどまらず、野々市市の旧市街である本町をエリアとして、リノベーションによる地域再生にも着手します。実際にこのエリアに暮らしている住民や行政、建設関連企業とも協力し、より実効的な計画を提案するためのフォーラムも開催します。

「CirKit プロジェクト」

野々市市内の個人商店が、郊外の大型ショッピングモールなどに押され、地域独自の商店街の街並みや地域コミュニ

ティが失われつつあります。そこで、インターネットやスマートフォンを媒介とするICTを活用して、地域の個人商店と地域コミュニティをつなぎ、地域全体の活性化を図ります。

具体的には、個人商店を取り巻く環境やマーケットをリサーチしながら学生が地域住民や商店の皆さんと信頼関係を築き、ニーズを把握します。そして、ソーシャルメディア、デジタルサイネージ等の技術で情報発信のお手伝いをし、フェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーションとICTを効果的に連動させたハイブリッド型の地域活性化モデルを創出します。



野々市市の皆様のご参加を

以上の両プロジェクトとも、活動フィールドを野々市市に設定しており、地域住民や企業の参画が欠かせません。野々市市の総務企画課がプロジェクトの連携窓口になり、市民参画を進めます。「RDA プロジェクト」「CirKit プロジェクト」への参加をお待ちしています。